

学校法人理知の杜
岡崎日本語学校

令和2年度
自己点検・評価

実施：令和3年4月1日

当校は、日本語教育機関の告示基準第1条第1項第18号および日本語教育機関の告示基準解釈指針に基づき、自己点検及び評価を行い、報告書として本書を作成し公表する。

報告書の作成に当たり、自己点検・評価項目のリストは、日本語教育振興協会の「日本語教育機関のための自己点検・評価項目（改訂版）」（平成29年5月29日）を参考にした。

各点検・評価項目は以下の5段階で評価を行う。

A：「達成されている」若しくは「適合している」

B：「概ね達成されている（適合している）が、不十分なところが残っている」

C：「未達成（未適合）」だが、「達成」若しくは「適合」になるために取り組んでいる

D：「未達成」若しくは「適合していない」今後の課題である

X：該当しない

1. 理念・教育目標

1-1 理念
国際化社会においては、さらなるグローバル化が進んでいるが、その中で必要不可欠なことは国家間の平和的かつ友好的な関係の構築であり、民間（一般）レベルでの深い相互理解もその一端を担っていると考えている。本法人は日本語の習得を希望する海外の優秀な人材を受け入れ、日本語教育を通して、日本に対する深い理解と、深い相互理解の下に、国際交流がはかれる人材を育成し、日本のこれからの発展に貢献したいと考えている。
1-2 教育目標
日本語で「話す」「聞く」「読む」「書く」ことを習得し、不自由なくコミュニケーションが図れるような能力を育成すると同時に、日本の文化、習慣等も教授し、日本に対する深い理解を持てるような人材を育成すること。
1-3 育成する人材像
日本語で日本語母語話者と不自由なくコミュニケーションを図ることができ、日本の文化、習慣に理解を示す人材を育成したい。

[A]1-4 理念、教育目標及び育成する人材像が、教職員及び学生に周知されているか。

[A]1-5 理念・教育目標が社会の要請に合致しているか。

まとめ	課題及び改善内容
理念、教育目標及び育成する人材像は、教職員、学生に周知されている。ホームページに掲載しており学外へ発信している。	新型コロナウイルス感染症の影響で不安定な時期ではあるが、今後も理念を体現できるよう教育活動に取り組んでいきたい。

2. 学校運営

[A]2-1 理念・目標・目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか。

[A]2-2 組織運営や人事、財務管理の規定が整備されているか。

[B]2-3 教職員の採用・定員管理・研修並びに評価は適切に行われているか。

[A]2-4 予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確であるか。

[A]2-5 外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがあるか。

[A]2-6 意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能しているか。

[A]2-7 学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っているか。

[B]2-8 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っているか。

[A]2-9 業務の見直し及び効率的な運営の検討が組織的に行われているか。

まとめ	課題及び改善内容
理念・目標・目的に沿った運営方針や事業計画が策定され、組織運営、管理されている。外部からの情報収集を内部で適正に共有し、組織的に意思決定を行っている。外国籍の職員を採用し、学生、入学志願者等が理解できる言語で情報提供を行っている。	教職員のスキルアップ、またコンプライアンス意識を高めるための取り組みは個人によるものが大きく、組織として今後取り組んでいきたい。

3. 教育活動

(1) 教育活動の計画

- [A]3-1-1 日本語教育機関の告示基準が守られているか。
- [A]3-1-2 理念・教育目標に合致したコース設定をしていて、教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成されているか。
- [A]3-1-3 国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしているか。
- [A]3-1-4 教育目標に合致した教材を選定しているか。
- [B]3-1-5 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか。
- [B]3-1-6 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られているか。

まとめ	課題及び改善内容
日本語教育機関の告示基準を守った教育活動を行っている。CEFRの枠組みを参考にし、各コース卒業時の日本語レベルへ向けたカリキュラムを編成している。選定した教材はカリキュラムに即したものである。	担任教員を中心に教員間での共通理解を得るよう取り組んでいるが、個々の教員がコース全体の教育目標を理解するまで至っていない。また教材作成については個々の教員に頼っているところがあるため、定期的な研修会の必要性を感じる。

(2) 教育活動の実施

- [A]3-2-1 授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか。
- [A]3-2-2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。
- [A]3-2-3 学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか。
- [A]3-2-4 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか。
- [A]3-2-5 理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っているか。
- [B]3-2-6 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けているか。

まとめ	課題及び改善内容
<p>入学選考時、来日後、また在学中も適宜、学生が適切なクラスに入れるよう試験、判定会議を実施している。教員には学生の情報を必要に応じて伝達し、スムーズなクラス運営、授業が行えるようにしている。授業報告書、出席簿の記録は専任・非常勤問わず責任をもって行っている。また、到達度試験を通して学生の日本語レベルの確認を行っている。</p>	<p>特定の支援を必要とするかどうかの判断は教職員で行っているが、専門家の助言が必要だと判断したことがこれまでなく、今後必要になった場合に専門の機関に迅速に相談できるよう対策を講じた。</p>

(3) 教育活動を担う教職員

- [A]3-3-1 校長，主任教員，専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めているか。
- [B]3-3-3 教員の指導力向上のための取り組みを行っているか。
- [A]3-3-4 生活指導責任者が特定され，その職務内容及び責任と権限を定めているか。
- [A]3-3-5 入管事務担当者が特定され，その職務内容及び責任と権限を定めているか。
- [A]3-3-6 出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置しているか。
- [A]3-3-7 教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化しているか。
- [B]3-3-8 教育機関としての信頼を高めるため，倫理観，振る舞い，ハラスメント防止等に関する研修を行っているか。
- [A]3-3-9 教員及び職員の評価を適切に行っているか。

まとめ	課題及び改善内容
<p>各教職員の職務内容及び責任、権限は明確に定められており、生活指導責任者、入管事務担当者、申請等取次者は適切な職務内容を遂行している。</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルスの影響で教職員の研修の機会を設けなかったため、指導力向上、ハラスメント防止等は個々での取り組みとなった。一定の成果はあったが、組織としても取り組んでいきたい。</p>

4. 学修成果

(1) 成績判定と授業評価

- [A]4-1-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ，適切に行われているか。
- [A]4-1-2 成績判定結果を的確に学生に伝えているか。
- [A]4-1-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか。
- [A]4-1-4 学生による授業評価を定期的実施しているか。
- [B]4-1-5 授業評価の結果が教育内容や方法の改善，教員の教育能力向上等の取組に反映されているか。

まとめ	課題及び改善内容
成績判定のための試験を定期的実施し、学生に的確に伝え、判定基準を定期的に検証している。個人面談で学生から授業について聞き取りを行っており、授業評価の結果を教育内容、教育方法の改善に反映させるよう取り組んでいる。	授業評価の結果を教職員間で共有しているが、教員の指導力向上の取組に反映できているとはいえない。評価を実践的な課題へと変換し、具体的な取り組みをしていくことが望まれる。

(2) 教育成果

- [A] 4-2-1 入学から修了・卒業までの学習成果を記録、保管し、適正に管理しているか。
- [A] 4-2-2 修了・卒業の判定を適切に行っているか。
- [A] 4-2-3 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握しているか。
- [A] 4-2-4 卒業又は修了後の進路を把握しているか。
- [B] 4-2-5 卒業生及び修了生の状況を把握するための取組を行い、進学先等での状況や社会的評価を把握しているか。

まとめ	課題及び改善内容
2021年3月に留学生35名が卒業した。(大学進学1名、専門学校進学30名、国内就職2名、帰国2名) 在籍中の学習成果を記録し、適正に管理している。また、外部試験の結果、修了生の進路、転居先を把握している。	修了生には年2回ハガキ、手紙を出し、励ましを行っている。今後進学先の状況を一律把握できるよう、進学先の学校との連携を強化したい。

(3) 進路に関する支援

- [A] 4-3-1 学生の希望する進路を適切に把握しているか。
- [B] 4-3-2 進学等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか。
- [A] 4-3-3 入学時から一貫した進路指導を行っているか。

まとめ	課題及び改善内容
学生の希望する進路を把握し、担任教員を中心に進路指導を行っている。	進路指導室に資料を備えているが、適切に活用されているとはいえない。学生の進路の参考になるよう整備したい。

5. 学生支援

(1) 学生支援

- [A] 5-1-1 学生支援計画を策定し、支援体制が整備されているか。
- [A] 5-1-2 学習相談に対する支援体制が整備されているか。
- [A] 5-1-3 進路に対する支援体制が整備されているか。
- [A] 5-1-4 留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に日本での生活指導等の支援体制が整備されているか。
- [A] 5-1-5 住居支援を行っているか。

- [A]5-1-6 アルバイトに関する指導及び支援を行っているか。
- [A]5-1-7 健康管理, 衛生管理について支援する体制を整えているか。
- [A]5-1-8 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し, 併せて留学生保険に加入しているか。
- [A]5-1-9 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応及び感染症発生時の措置を定めているか。
- [A]5-1-10 交通事故等の相談体制を整備しているか。
- [A]5-1-12 火災, 地震, 台風等の災害発生時の避難方法, 避難経路, 避難場所等を定め, 避難訓練を定期的に行っているか。
- [A]5-1-13 気象警報発令時の措置を定め, 教職員及び学生に周知しているか。

まとめ	課題及び改善内容
<p>学生の学習、生活、進路相談に対する支援体制を整備し、適切な支援を行っている。各教職員が各々の業務の窓口となり、学生に周知している。学生は国民健康保険ならびに日本語振興協会を通じて学生災害補償制度に加入している。また、避難訓練を年2回実施している。月1回のアルバイト調査を実施し、管理している。</p>	<p>緊急時は校長からの指示で、事務長、主任教員を中心に迅速に行動できるよう体制を整えている。学生への周知は頻繁ではないため、適切なタイミングで周知を行い、しっかりと学生が理解し緊急時に適切に行動できるように取り組みたい。</p>

(2) 入国・在留に関する指導及び支援

- [A]5-2-1 入管事務担当者は、研修受講等により適切な情報取得を行っているか。
- [A]5-2-2 入管法上の留意点について学生への伝達, 指導等を定期的に行っているか。
- [A]5-2-3 在留上, 問題のある学生への個別指導を行っているか。
- [A]5-2-4 不法残留者, 資格外活動違反者, 犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的にしているか。
- [B]5-2-5 過去3年間, 不法残留者, 資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか。

まとめ	課題及び改善内容
<p>入管事務担当者は適切な情報取得を行い、定期的に学生へ入管法上の留意点を伝達している。問題が起こる前に対処できるよう教職員、エージェントが一体となり情報共有し取り組みを行っている。</p>	<p>概ね修了生の状況は把握できたが、一部困難な場合もあった。そのため、関係者ならびに、進学先の学校含め諸機関と連携して、状況を把握するよう努めたい。</p>

6. 教育環境

- [A]6-1 安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されているか。
- [A]6-2 教室, その他の施設は「日本語教育機関の運営に関する基準」及び「日本語教育機関の告示基準」に適合しているか。
- [B]6-3 教室内は, 十分な照度があり, 換気がなされているとともに, 語学教育を行うの

に必要な遮音性が確保されているか。

[B]6-4 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能であるか。

[A]6-5 教員及び職員の執務に必要なスペースを確保しているか。

[A]6-6 同時に授業を受ける学生数に応じたトイレを設置しているか。

[A]6-7 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状であるか。

まとめ	課題及び改善内容
安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が基本的には整備されており、危険のない形状、施設であるといえる。	意識的に教室の換気を行っているが、教室の形状から、常時窓、ドアを開けることができないため、換気が不十分になりがちである。意識的に換気するよう努めたい。また、図書室の利用がより活発になるよう図書、メディアを整備したい。

7. 入学者の募集と選考

[A]7-1 入学者の募集は、学生の受入方針に基づき適切に行われているか。

[A]7-3 入学志願者に本校の学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件等が正確に伝えられているか。

[A]7-4 海外の募集代理人（エージェント等）に正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握しているか。

[A]7-5 入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っているか。

[A]7-6 入学志願者の学習能力、勉強意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認しているか。

[A]7-7 入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されているか。

[A]7-8 関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されているか。

まとめ	課題及び改善内容
募集要項に入学者の募集と選考に関する必要な情報を載せており、担当者によってエージェントへ正確に情報を伝えている。入学後にトラブルが起きないように、エージェントと密に連絡を取り、志願者と意思の疎通を図っている。	エージェントと志願者とのやり取りは厳密に把握することができないため、入学後に学生へ聞き取りを行い、できるだけ把握するよう努めている。また、把握した情報を関係機関と共有し、適切な募集活動につなげていけるよう努めている。

8. 財務

[B]8-1 財務状況は、中長期的に安定しているか。

[A]8-2 予算・収支計画の有効かつ妥当なものとなっているか。

[A]8-3 適正な会計監査が実施されている。

[A]8-4 財務情報の公開の体制はできているか。

まとめ	課題及び改善内容
学校法人を通し適正な会計監査が実施されている。予算・収支計画は有効かつ妥当なものである。	新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年より学生の50%が入国できていない状況が続いている。本校への留学の意図を継続してもらえよう、志願者への働きかけを続けていきたい。

9. 法令遵守

[A]9-1 出入国管理及び難民認定法令等の遵守と適切な運営がなされているか。

[A]9-2 個人情報保護のための対策をとっているか。

[A]9-3 地方出入国在留管理局，その他関係官公庁等への届出，報告を遅滞なく行っているか。

まとめ	課題及び改善内容
各法令に遵守して運営しており、各関係区官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。出入国在留管理庁、名古屋出入国在留管理局の定める規程だけでなく、愛知県認可の各種学校でもあるため、国や県の各種学校に係る規程も遵守している。	開校3年目をむかえ、取り扱う個人情報関連の書類も多くなってきた。出入国管理局の定める規程に従い、適切な情報管理を継続していく。

10. 地域貢献・社会貢献

[A]10-1 日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか。

[B]10-2 学生ボランティア活動への支援を行っているか。

[B]10-3 公開講座等を実施しているか。

まとめ	課題及び改善内容
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で学外と交流を行うことができなかったが、校長筆頭に積極的に情報を発信し、愛知教育大学附属中学校生徒による聞き取り調査への協力、また市役所の講座依頼があった。市内滞在者からの入学希望の問い合わせも増えており、確実に地域の認知度は高まっていると感じる。	新型コロナウイルス感染症の状況が収束したら、学外に向けても日本語教育機関の役割を果たすよう取り組んでいきたい。